

「豊かな心と体を育み，自ら学びあう児童の育成」 ～栄養教諭を中核とした，食に関する指導を通して～

I 研究の内容

1 研究仮説

授業の中に，望ましい食生活・食習慣への意識を高め，学びあう活動を取り入れることにより，食に関心を持ち，自ら進んで心と体の健康を高める子どもが育つだろう。

2 研究の具体的内容と方法

- (1) 『食』に視点を当てた授業研究と授業実践
～「食教育」に関わる授業実践を一人一実践行う～
- (2) テーマに関わる理論学習
- (3) 『食に関する指導』の年間指導計画作成
- (4) 外国語活動の研究
- (5) 特別支援教育の研究

3 研究実践

(1) 学習会

「小学校外国語活動の課題」

講師 山梨県教育委員会指導主事 嶋崎 修先生

「食教育とは何か」

講師 山梨県教育委員会スポーツ健康課指導主事 秋山知子先生

「感情コントロールを育む支援について」

講師 山梨英和大学専任講師 森 稚葉教諭

(2) 各学年の食の年間指導計画と食に関わる体験活動例

栄養教諭と各学年担任が連携し，食に関わる年間計画を作成した。また年度の終わりに，学年ごとに1年間行ってきた食に関わる体験活動を表にまとめ，来年度のための資料とした。

(3) 食に関わる月別指導資料

栄養教諭が，低学年・中学年・高学年に向けた3つの指導資料を毎月発行し，校内研の一部の時間を使い，その指導事項について留意点を述べた。資料は学級で活用した後，各家庭に配布された。

(4) 授業研究

ア 低学年ブロックの研究

3学年学級活動（食教育）「畑のお肉，そのひみつ」

授業者 武井 麻子教諭 早川 貞子栄養教諭

イ 高学年ブロックの研究

6 学年外国語活動「行ってみたい国を紹介しよう」

授業者 山宮 武徳教諭 フレッドA L T

(5) 授業公開

5 学年総合的な学習授業実践「お米の良さを知ろう」

小林由紀子教諭・早川貞子栄養教諭

2 学年授業実践「野菜を食べよう」

広瀬 美穂教諭・早川貞子栄養教諭

6 学年授業実践「栄養のバランスを考えて食べよう」

山宮 武徳教諭・早川貞子栄養教諭

1 学年授業実践「給食大好き（給食はどうやってできるの）」

廣瀬みどり教諭・早川貞子栄養教諭

4 学年授業実践「元気のもとになる朝ご飯を考えよう」

金井 巖教諭・早川貞子栄養教諭

すみれ・つくし学級授業実践「お正月を楽しもう」

松井仁美教諭・三枝直美教諭・早川貞子栄養教諭

II 成果と課題

1 成果

- ・今年度の子どもたちの実態をふまえた適切な仮説だった。この仮説を検証するために、理論研究や授業実践を進めることができた。栄養教諭との連携の中、どの学年も自分の食生活や健康について考えるきっかけ作りとなる実践ができた。
- ・全クラスで食に関する授業実践を行い、子どもたちが食に関心を持ち、食生活を見つめるきっかけになった。また栄養教諭が授業に入ることによって、栄養教諭の専門性を生かし、具体物や写真等を活用した子どもたちの関心を引く素晴らしい授業実践が行えた。子どもたちは望ましい食生活、食習慣への意識を高めていくことができた。
- ・担任とA L Tの関わりについて授業実践を見せていただき、外国語活動の授業作りの視点がよくわかった。学習会や研究授業を通して、外国語活動とは、担任が主体になって英語を積極的に使い、楽しい授業を行うことが大切なのだとわかった。また早めに指導主事を招いての学習会をしていただき、大変参考になった。

2, 課題

- ・今年度の授業実践では、学級活動が多かったので、来年度は教科、道徳などにおける食に関する指導が実践できると良い。
- ・来年度は年間計画に基づいた実践をしながら、付加・修正をし、より実態に即した年間指導計画にしていきたい。
- ・「食」の問題は、家庭との関わりが大きい。今年の活動で、かなり関心が高まってきているが、あまり反応がない家庭もある。さらに働きかけたい。

III 成果物

研究授業および授業実践の指導案8点 食生活年間指導計画 食生活月別指導資料
(研究主任 小林 由紀子)